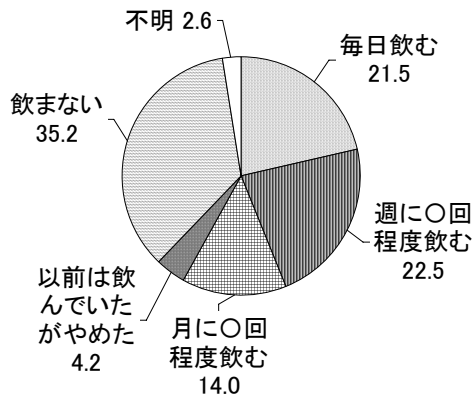


F1. お酒（アルコール類）を飲む頻度

[設問]

Q 1 あなたは、お酒（アルコール類）を飲みますか。（○は1つ。なお、「2」「3」に回答する場合は に回数をご記入ください。）

[回答結果(全体)]



No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	毎日飲む	523	21.5	451	19.7
2	週に○回程度飲む	549	22.5	578	25.3
3	月に○回程度飲む	340	14.0	366	16.0
4	以前は飲んでいましたがやめた	103	4.2	91	4.0
5	飲まない	859	35.2	754	33.0
6	不明	63	2.6	48	2.1
回答数		2437	100.0	2288	100.0

[回答結果(詳細)]

お酒を飲むかどうか、また飲む方についてはその頻度を伺ったものである。

「飲まない」が3割強で（35.2%）で最も多く、以下「週に○回程度飲む」（22.5%）、「毎日飲む」（21.5%）となっている。「飲む」（「毎日飲む」＋「週に○回程度飲む」＋「月に○回程度飲む」）が6割、「飲まない」（「飲まない」＋「以前は飲んでいましたがやめた」）が4割という構成となっている。

前回調査と比較すると、「毎日飲む」方は微増となっているが、「飲む」とした方全体で見ると3%減少している。

※「週に○回程度飲む」、「月に○回程度飲む」と回答した方の“回数”については、次ページ上段の円グラフを参照して頂きたい。

男女別に見ると、「飲む」とした方は男性で7割強、女性でも4割強存在する。「毎日飲む」を見ると、男性で4割近くにも達している。女性では「飲まない」が5割近くにも上っている。

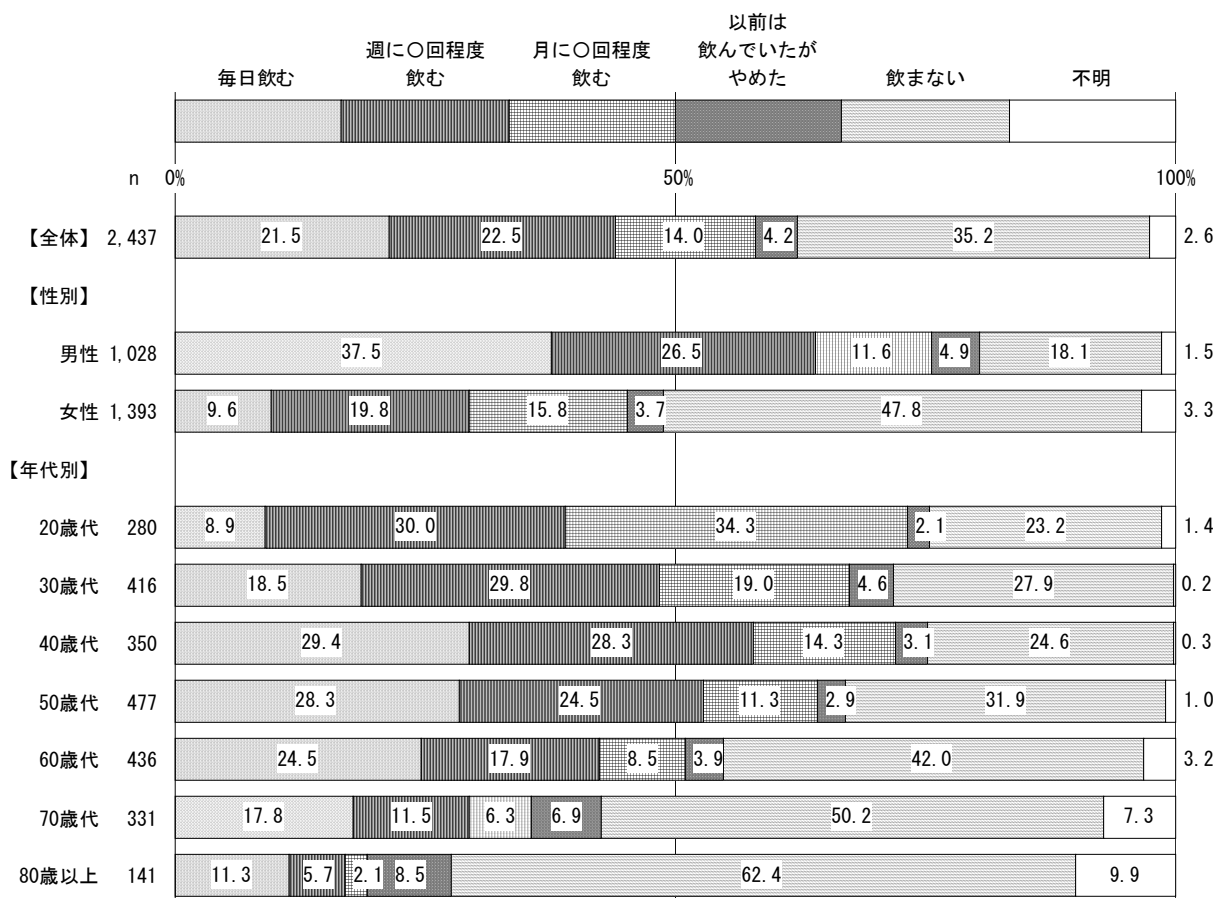
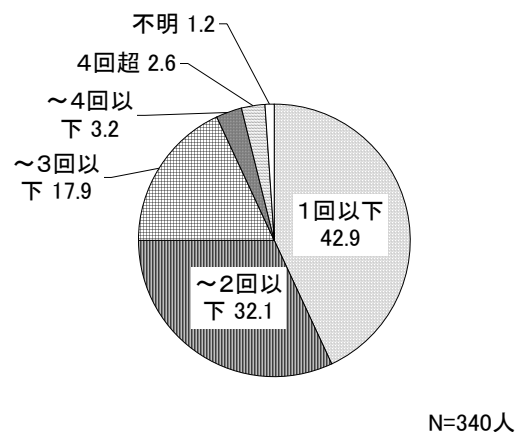
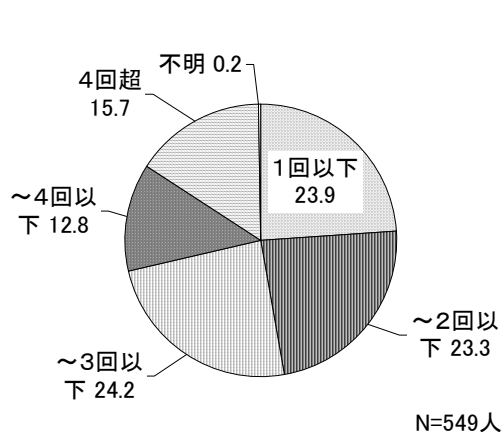
前回調査と比較すると、「飲む」方の割合は、男性で2%、女性で7%減少し、「飲まない」方の割合は、男性で1%、女性で4%増加している。

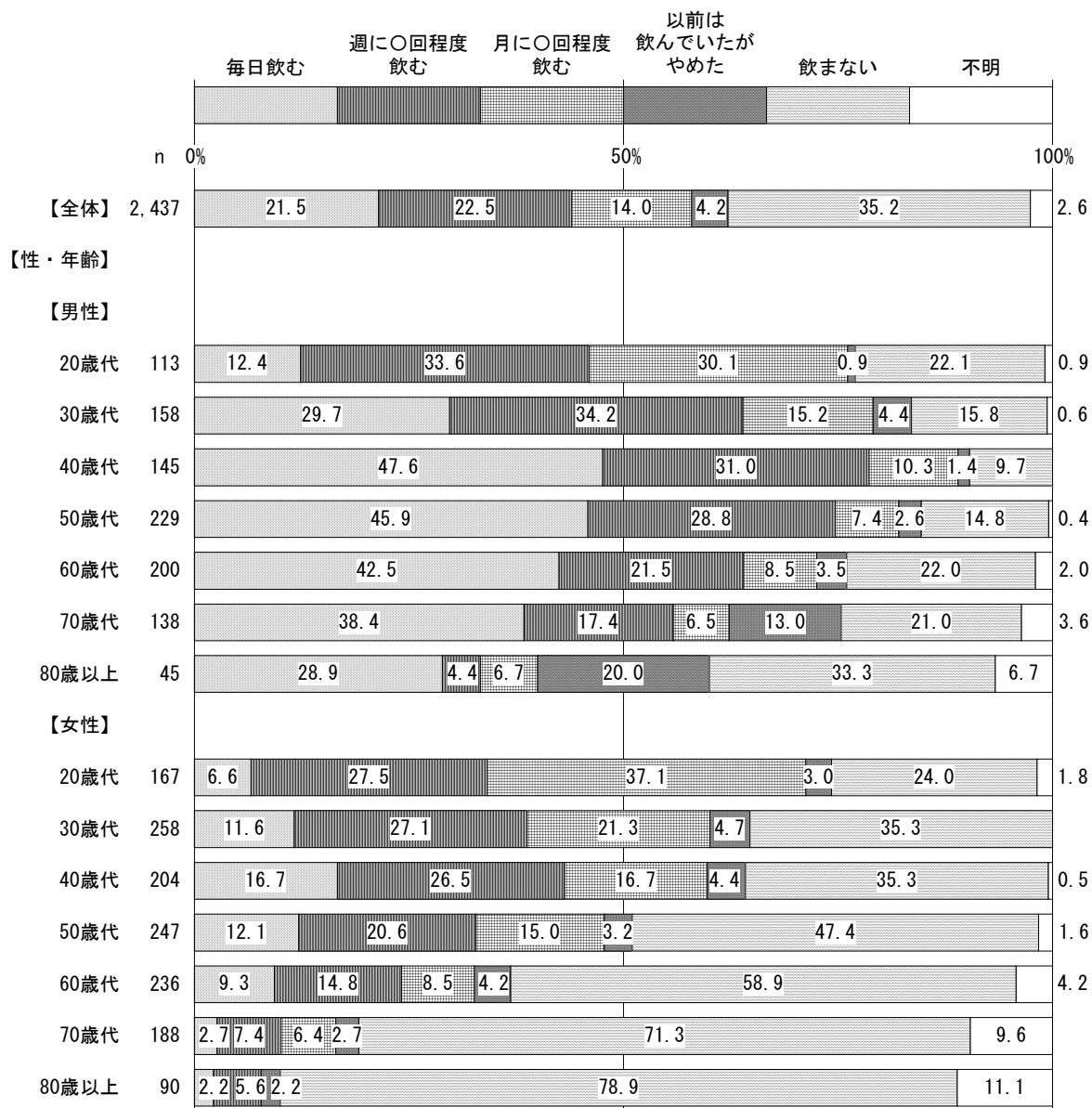
年代別に見ると、若い年代ほど「飲む」方が多くなる傾向にあり、最も多い20歳代と最も少ない80歳以上では、4倍近い格差が存在している。80歳以上では「飲まない」方の割合が7割にも達している。

前回調査と比較すると、「飲む」方はほぼすべての年代で減少しているが、唯一60歳代でのみ3%増加している。

性別・年代別に見ると、「飲む」方は、男性では40歳代をピークとして以降年代が高くなるほど割合が低くなる傾向にあり、女性では若い年代ほど割合が高い傾向にある。男性は60歳代以下で飲酒率が7割を超えており、特に40歳代では9割近く（88.9%）にも達している。女性では20歳代が最も高く7割を超えている（71.2%）。

前回調査と比較すると、「飲む」方の割合は、男性40歳代（＋4%）、60歳代（＋2%）、80歳以上（＋1%）、女性50歳代（＋2%）、60歳代（＋3%）、70歳代（＋1%）で増加しており、それ以外では減少となっている。減少している性別・年代のうち、特に男性30歳代（－5%）、50歳代（－7%）、女性20歳代（－4%）、30歳代（－3%）での減少幅が大きい。



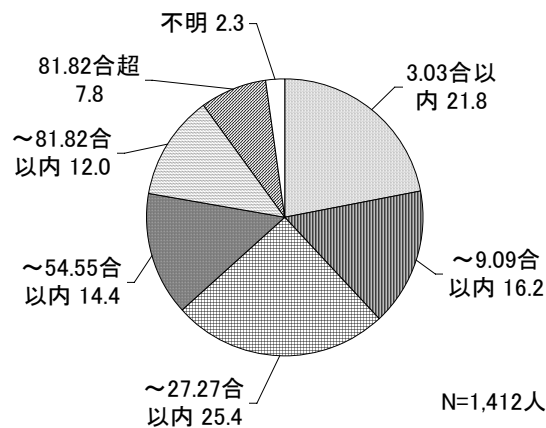


FS1①-月間飲酒量（推計）

[設問]

S Q 1 ① Q 1で「1」「2」「3」と回答した方にのみ伺います。あなたは、1回当たりどのくらいの量だけ飲みますか。ご面倒でも日本酒に換算の上、□にご記入ください。

[回答結果(全体)]



No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	3.03合以内	308	21.8	350	25.1
2	~9.09合以内	229	16.2	280	20.1
3	~27.27合以内	358	25.4	304	21.8
4	~54.55合以内	204	14.4	213	15.3
5	~81.82合以内	170	12.0	140	10.0
6	81.82合超	110	7.8	86	6.2
7	不明	33	2.3	22	1.6
回答数		1412	100.0	1395	100.0

[回答結果(詳細)]

Q1で“お酒（アルコール類）を飲む”と回答した方に対し、その頻度と、1回当たりどのくらいの量を飲むか聞き、日本酒に換算して月間の飲酒量を推計したものである。
なお、『節度ある適度な飲酒』（1日平均純アルコール 20g）は月間換算で 27.27 合となり、『多量な飲酒』（1日平均純アルコール 60g 超）を毎日すると、月間換算で 81.82 合超となる。

お酒（アルコール類）を飲むと回答した方（計 1,412 人）を基に算出すると、27.27 合以内の「節度ある適度な飲酒」の方は 6 割を超えているが（63.4%）、これ以上の飲酒量の方も 4 割弱おり、81.82 合超の「多量な飲酒」の方も 7.8% 存在する。
前回調査と比較すると、「節度ある適度な飲酒」の方は 4 % ほど減少しており、それ以上の飲酒量の方が約 3 % 増加している。

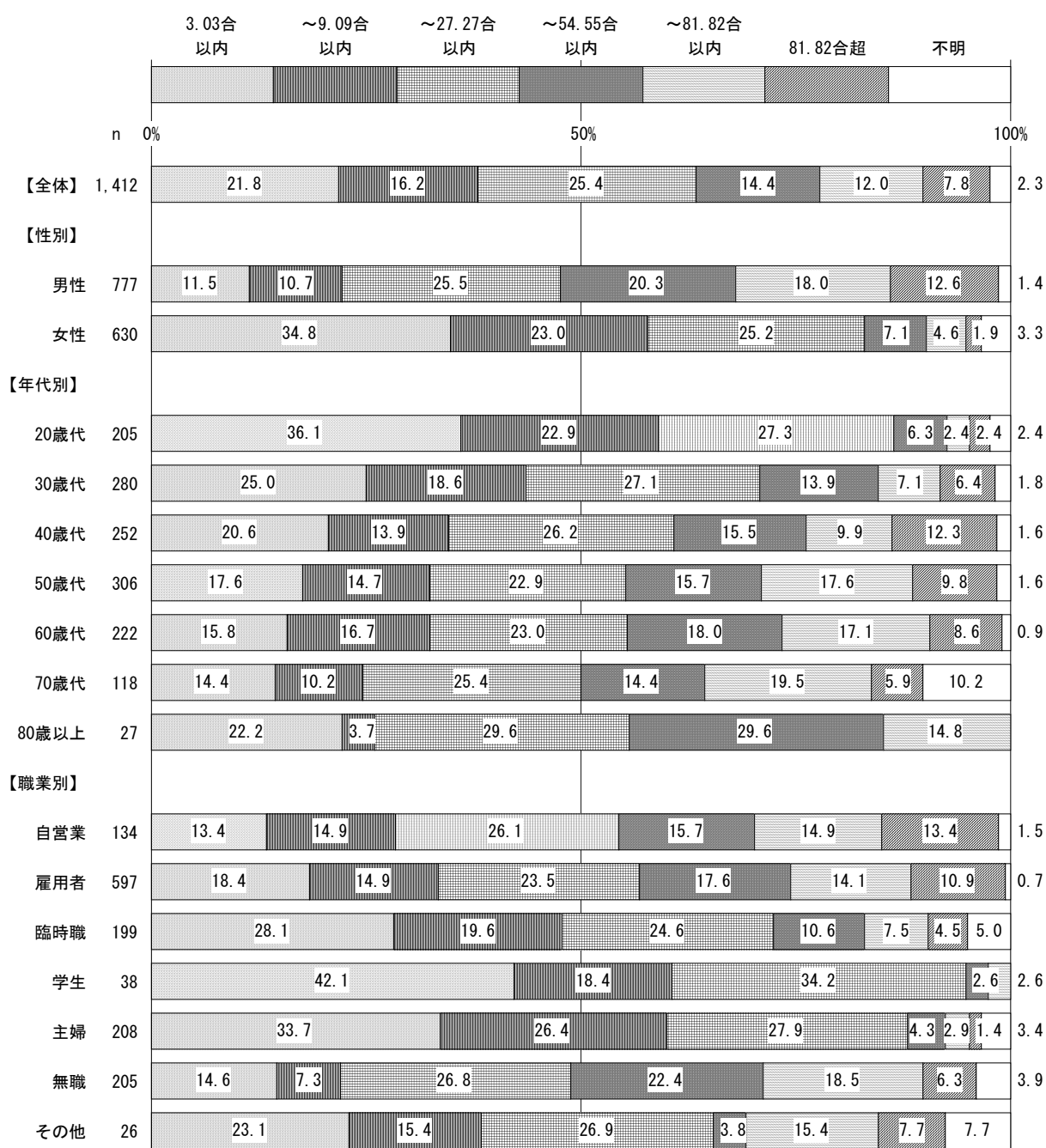
男女別に見ると、「節度ある適度な飲酒」の方は男性で 5 割弱、女性で 8 割強と、女性の方が高い。逆に、「多量な飲酒」の方は、女性が 2 % であるのに対し男性では 1 割を超えている。
前回調査と比較すると、男女共「節度ある適度な飲酒」の方が減少し、それ以上の飲酒量の方（27.27 合超）が増加している。

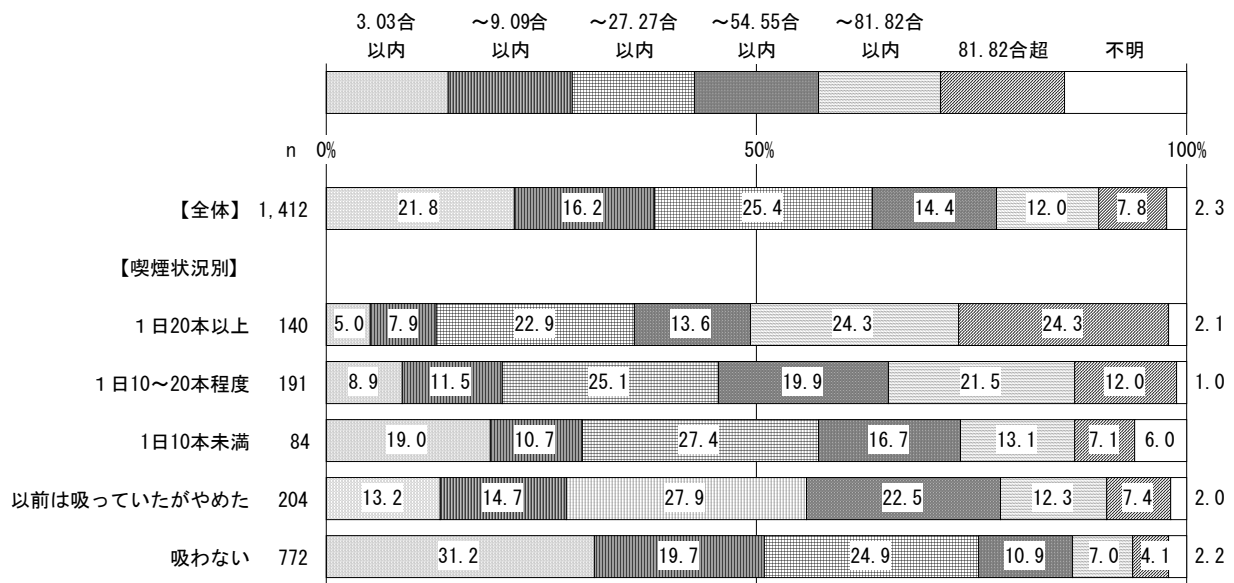
年代別に見ると、年代が若くなるほど「節度ある適度な飲酒」の方が多くなる傾向にあり、20 歳代では 8 割を大きく超えている。40～60 歳代で「多量な飲酒」の割合が高く、1 割もしくはそれ以上となっている。
前回調査と比較すると、「節度ある適度な飲酒」の方は 20 歳代を除き減少しており、それ以上の量を飲む方が増加となっている。特に 30 歳以上で 81.82 合超の方が増加傾向にある。

職業別に見ると、「節度ある適度な飲酒」の方は『学生』と『主婦』に多く、9 割前後となっている。『無職』では「節度ある適度な飲酒」に収まっている割合が全職業中最も少なく、それ以上の飲酒量である割合が高い。
前回調査と比較すると、「節度ある適度な飲酒」の方は『自営業』以外では減少しており、それ以上の飲酒量となっているケースが多い。

喫煙頻度別（喫煙の有無別）に見ると、喫煙頻度が少ない（吸わない）方ほど「節度ある適度な飲酒量」に収まっているケースが多く、『1日20本以上』で35.8%であるのに対し、『吸わない』では倍以上の75.8%にも上っている。一方、27.27合超の方は喫煙頻度が高い方に多く見られ、『1日20本以上』では62.2%にも上り、その中でも「多量の飲酒」である81.82合超の割合は2割を超えている。

前回調査と比較すると、“喫煙者”で適正飲酒量に収まっている方が6%減少、それより多い飲酒量の方が5%増加している。また、喫煙の有無や本数を問わず、81.82合超の割合が増加しており、特に『1日20本以上』の方で6%増加している。



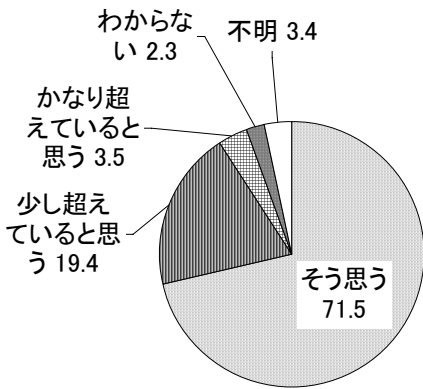


FS1②. 節度ある適度な飲酒量と思うか

[設問]

S Q 1 ② Q 1 で「1」「2」「3」と回答した方の方に伺います。あなたの飲酒は、節度ある適度な飲酒量におさまっていると思いますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



N=1,412人

No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	そう思う	1009	71.5	1048	75.1
2	少し超えていると思う	274	19.4	244	17.5
3	かなり超えていると思う	49	3.5	46	3.3
4	わからない	32	2.3	33	2.4
5	不明	48	3.4	24	1.7
回答数		1412	100.0	1395	100.0

[回答結果(詳細)]

Q1で“お酒（アルコール類）を飲む”と回答した方に対し、節度ある適度な飲酒量に収まっているかどうか伺ったものである。

「そう思う」との認識を持っている方は7割（71.5%）だが、“超えていると思う”（「かなり超えていると思う」＋「少し超えていると思う」）との認識を持っている方も確実に2割（22.9%）存在する。

前回調査と比較すると、「そう思う」が約4%の減、「少し超えていると思う」が2%の増となっており、それ以外の項目に変化は見られない。

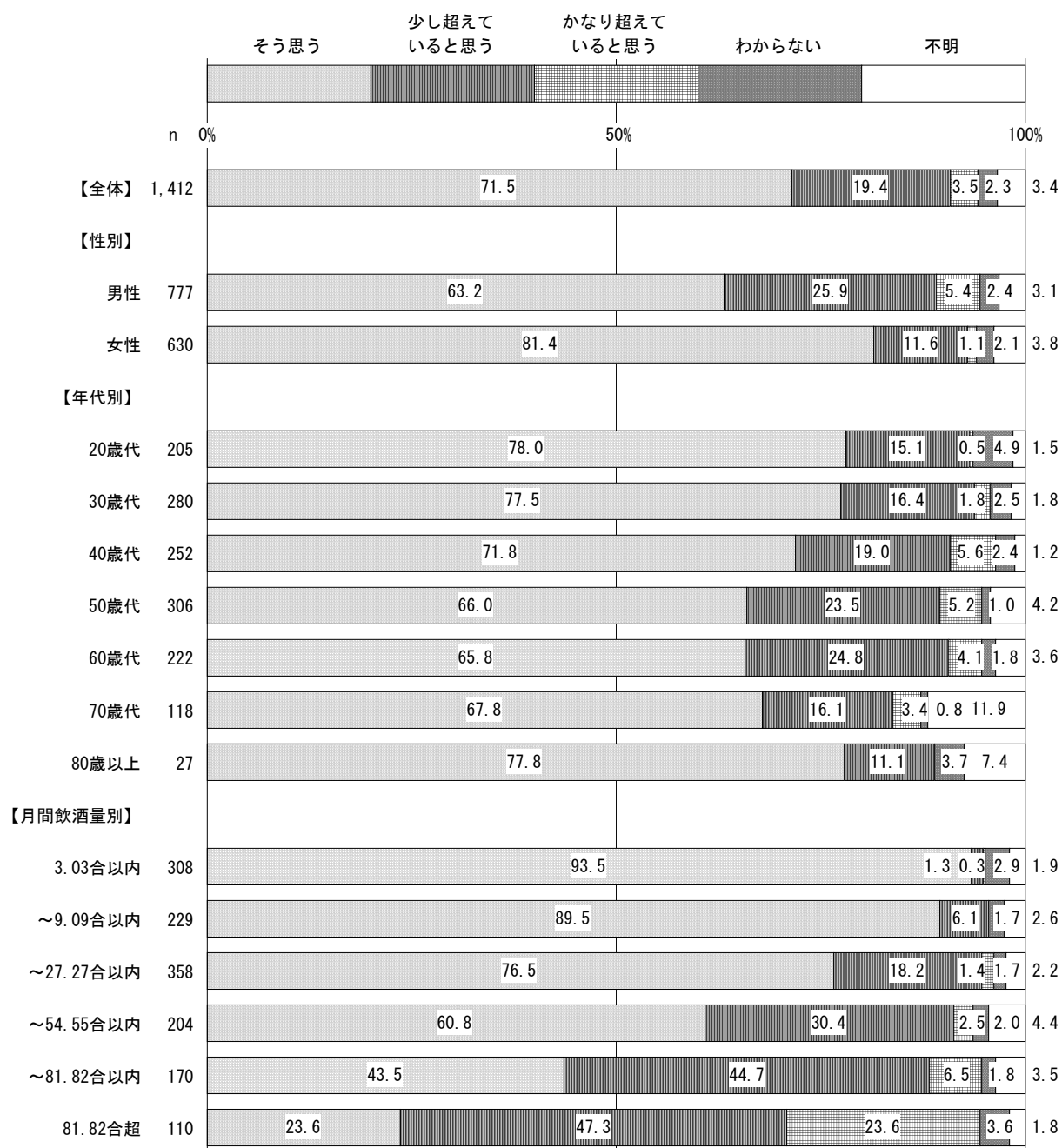
男女別に見ると、「そう思う」との回答は女性の方が2割ほど高いが、“超えていると思う”方は男性で多く、女性の倍以上となっている。

前回調査と比較すると、「そう思う」が男性で4%、女性で3%減少、“超えていると思う”が男性で2%、女性で2%増加となっている。

年代別に見ると、どの年代も「そう思う」が最も多いが、40～70歳代では割合がやや低く、「かなり超えていると思う」がやや高い。

前回調査と比較すると、40～70歳代で「そう思う」が減少、「かなり超えていると思う」が増加となっている。特に60歳代では、「そう思う」が12%減少、「かなり超えていると思う」が2%増加している。

月間の飲酒量別に見ると、27.27合以内の『節度ある程度な飲酒』で「そう思う」と回答している方（実態と認識が一致している方）は85.7%となっている。一方、これより飲酒量の多い方では、実態と認識の間にズレ（甘さ）が見られ、特に81.82合超の『多量な飲酒』の方では、「そう思う」、「少し超えていると思う」を併せると全体の7割を超えており、「かなり超えている」と認識している割合は2割強となっている。

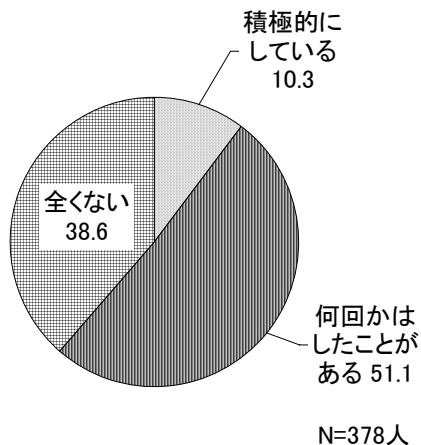


F2. (中・高校生がいる方) 飲酒の健康への影響の話

[設問]

Q 2 ご家族に、中学生・高校生のいる方の方に伺います。あなたは、飲酒が健康に及ぼす影響についてお子さんと話をしたことがありますか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]



No.	回答	今回調査		前回調査 (平成12年11月)	
		件数	%	件数	%
1	積極的にしている	39	10.3	28	8.3
2	何回かはしたことがある	193	51.1	164	48.7
3	全くない	146	38.6	145	43.0
	回答数	378	100.0	337	100.0

[回答結果(詳細)]

家族に中学生・高校生がいる方(回答者は378人)に、飲酒が健康に及ぼす影響について子供と話をしたことがあるかどうか伺ったものである。

「積極的にしている」(10.3%)と「何回かはしたことがある」(51.1%)を併せた、“話をしたことがある”割合は6割となっているが、「全くない」とした方も4割弱(38.6%)存在する。

男女別に見ると、“話をしたことがある”割合は男性で6割弱、女性で6割強となっており、女性の方でやや高い。

前回調査と比較すると、男性で“話をしたことがある”割合が13%増加している。

月間の飲酒量別に見ると、『3.03～9.09合以内』で“話をしたことがある”割合が低くなっているが、それ以外では特に大きな差は存在していない。

前回調査と比較すると、“話をしたことがある”割合は、『27.27～54.55合以内』の方で14%、『54.55～81.82合以内』の方で10%、『81.82合超』の方で9%増加している。

